



## 学校における働き方改革は、

- ① どこを目指すのか？
- ② なぜ、推進するのか？
- ③ どのように、推進するのか？

これまでの様々な状況（前提・条件等）が変わってきている

これから**の状況**（前提・条件等）に応じて  
子供たちに対し、より良い教育が行えるように  
教育環境を整える必要がある



そのためには、**学校・家庭・地域が一体**となって  
学校における働き方改革の推進が必要

## 社会の現状と変化

将来の予測が  
困難な、  
VUCA※の  
時代



少子化、  
人口減少、  
高齢化



地球規模  
課題



低い労働生産性、  
学ばない社会人



国や社会に  
対する  
意識の低下



等

※ 「Volatility:変動性」、「Uncertainty:不確実性」、「Complexity:複雑性」、「Ambiguity:曖昧性」の4つの単語の頭文字をとった造語

ポイント解説動画はこちらからチェック!

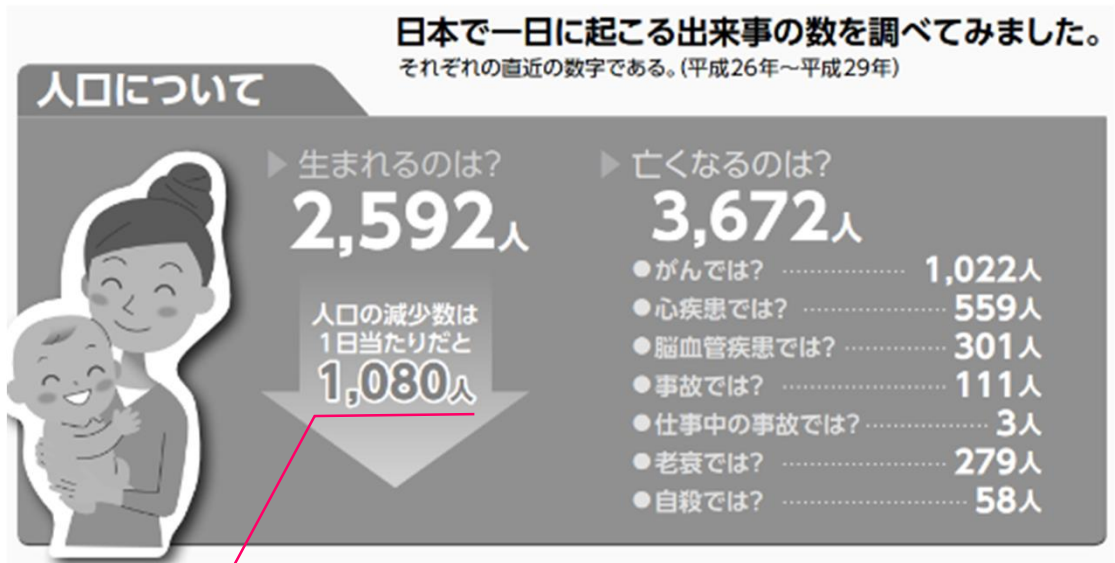


【資料】 [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/keikaku/index.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/index.htm)



「厚生労働白書」 （厚生労働省） より抜粋

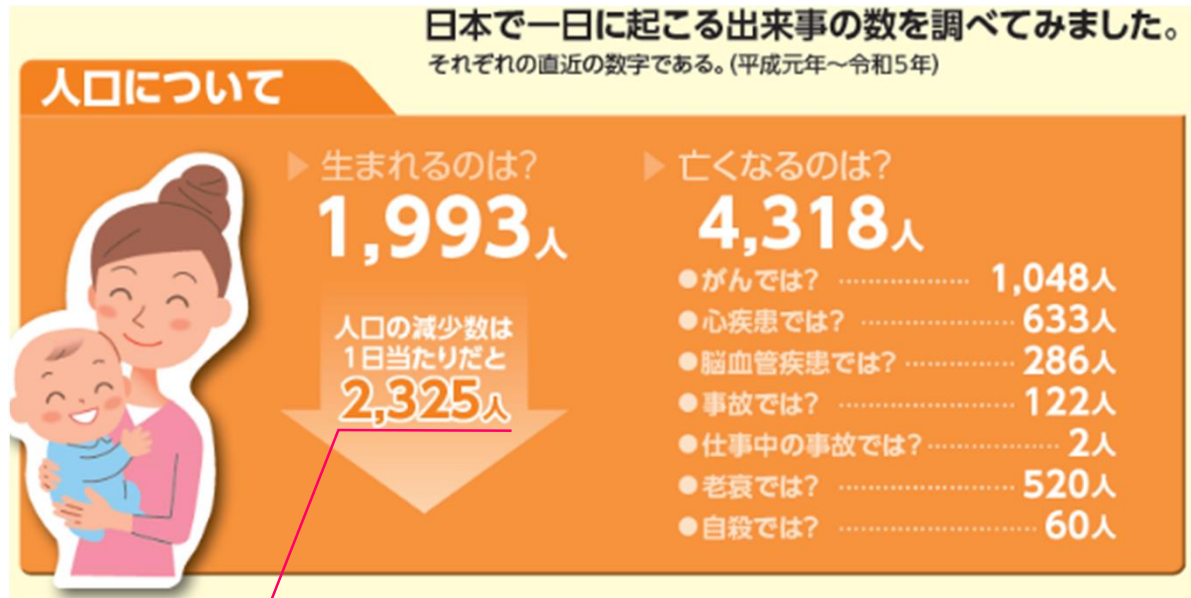
平成30年度版（H26～H29）



【引用】 <https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/18-3/dl/02.pdf>

人口の減少数は  
1日当たり **1,080人**

令和6年度版（R1～R5）



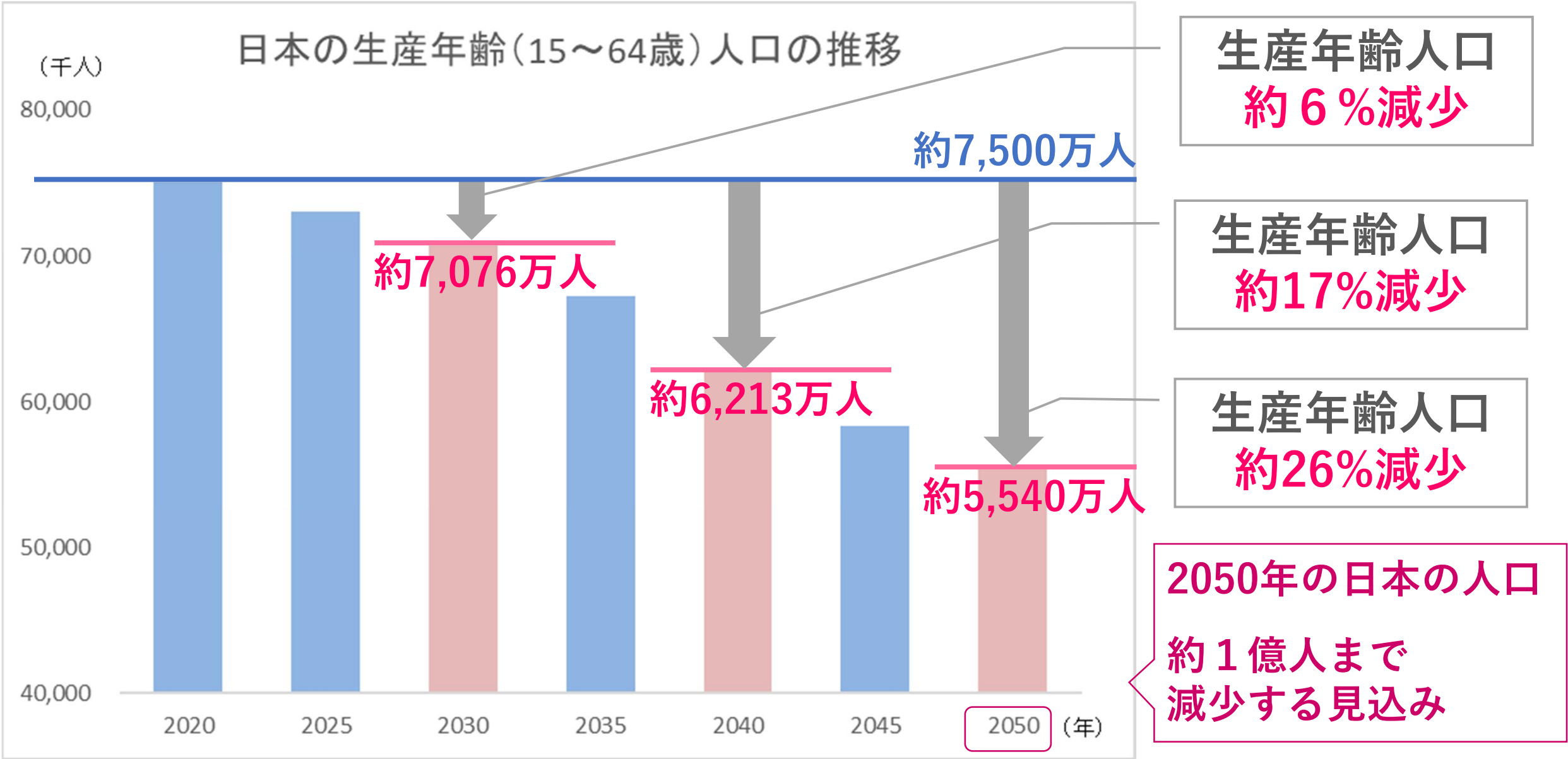
【引用】 <https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/23-3/dl/02.pdf>

2.15  
倍

人口の減少数は  
1日当たり **2,325人**

2 なぜ、推進するのか？

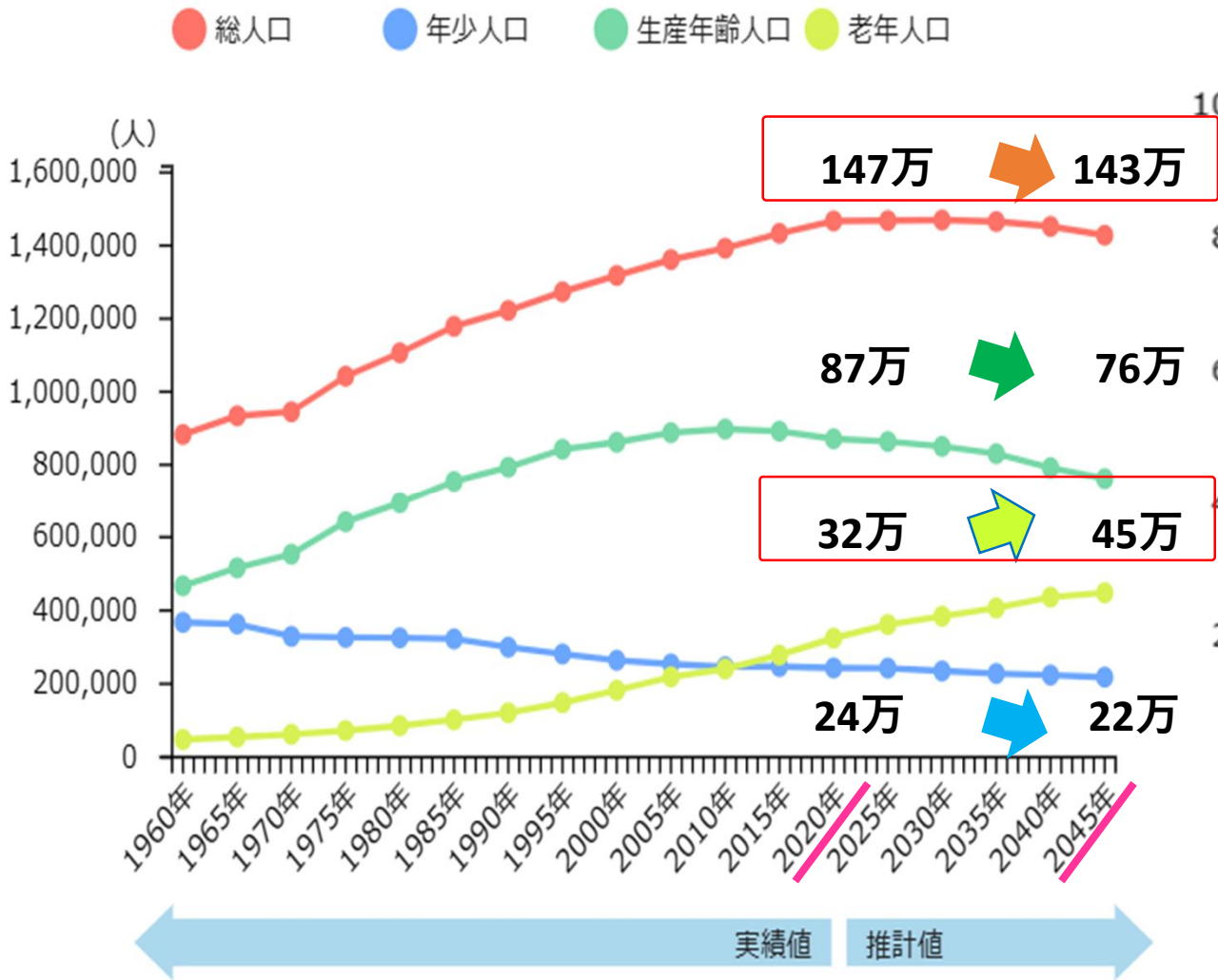
少子化、人口減少、高齢化



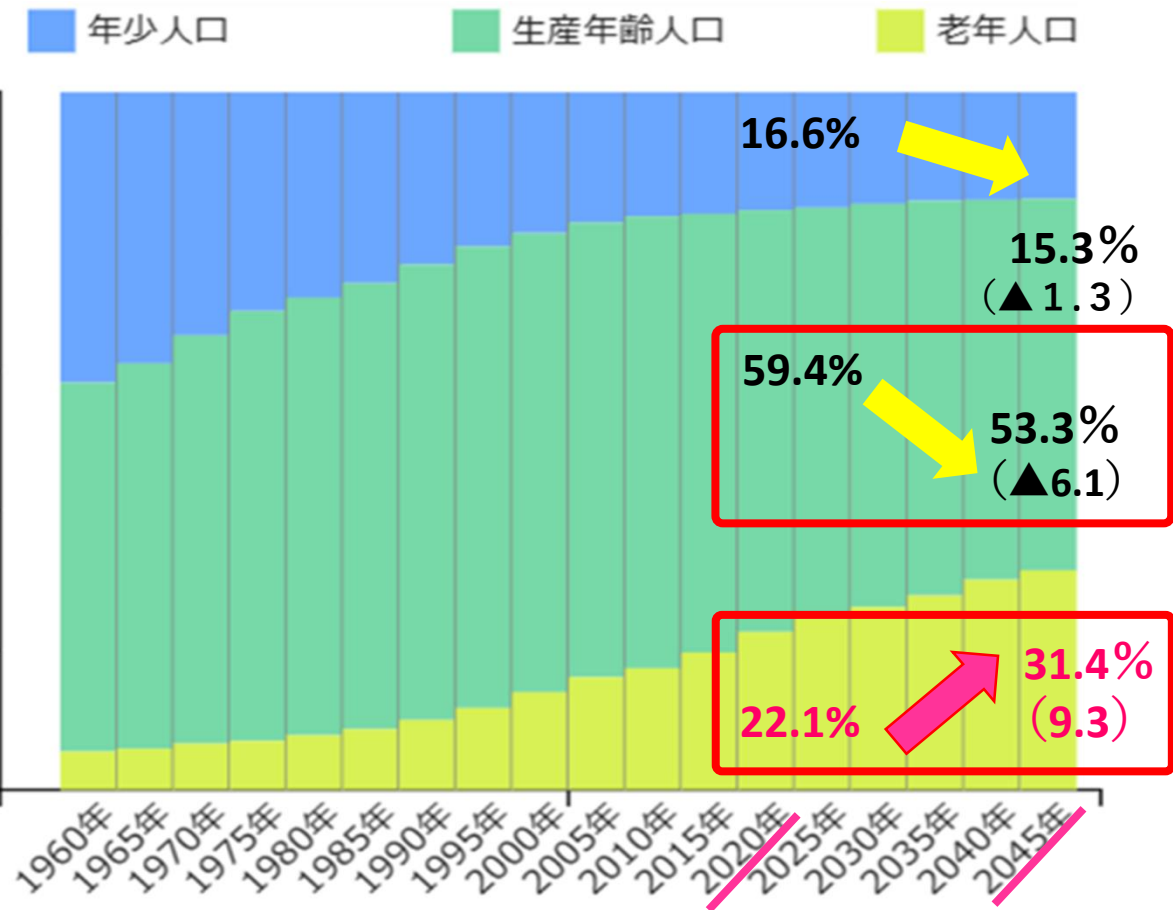
(出所) 国立社会保障・人口問題研究所「『日本の将来推計人口』(令和5年推計)[出生中位(死亡中位)]推計値」を基に沖縄県教育庁働き方改革推進課が作成。  
[https://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/Popular/P\\_Detail2023RE.asp?fname=T02-07.htm](https://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/Popular/P_Detail2023RE.asp?fname=T02-07.htm)

● 高齢化率が高くなる 労働人口の減少が課題

人口推移



世代別人口割合



これまでの様々な状況が変わると・・・

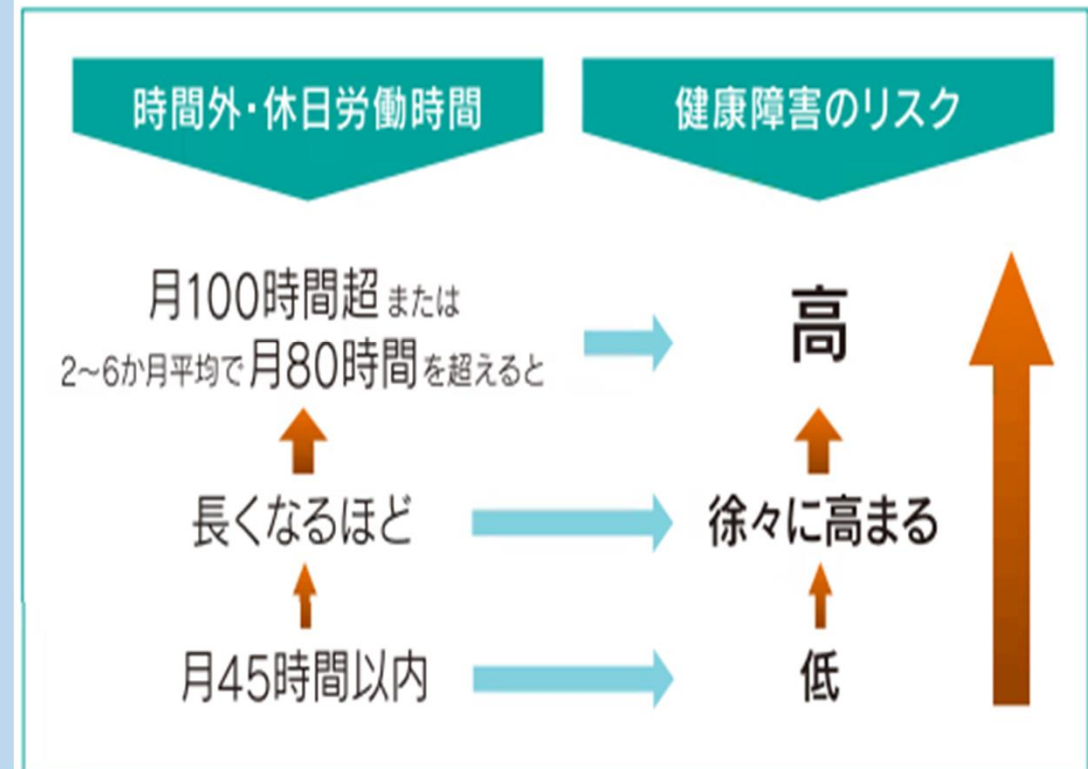
★ 働き方の認識が変わる（成長社会から成熟社会へ）

● 働き方改革を推進するための  
関係法律の整備に関する法律

平成30年7月6日公布

- ・ 時間外労働の上限規制
- 👉 原則として  
月45時間、年360時間

■ 時間外・休日労働時間と健康障害リスクの関係



【資料】厚労省：過労死等防止啓発パンフレットより抜粋

<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/001314747.pdf>

### ★ こどもに関する法律が変わる（社会の担い手から創り手へ）



<https://www.moj.go.jp/content/001300586.pdf>

- 民法の一部を改正する法律  
（成年年齢関係）  
令和4年4月1日施行

民法の成年年齢

➡ 20歳から18歳に引き下げ



<https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo-kihon>

- こども基本法  
令和5年4月1日施行

こども基本法に基づく

➡ こども施策の策定等へのこどもの意見の反映等

## ★ 教育の基本計画が変わる（持続可能な社会の創り手の育成）

### 文部科学省

### 第4期教育振興基本計画（令和5年6月）



- ・ 2040年以降の社会を展望
- ・ マルチステージの人生
- ・ 生涯にわたって学び続ける学習者の育成

- ・ 持続可能な社会の創り手の育成
- ・ 「協調と調和」に基づくウェルビーイングの向上

文部科学省



ウェルビーイングとは

日本社会に根差した  
ウェルビーイングの向上

- 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。
- 多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。



## ★ 学校での学び方も変わる（教師もアップデートが必要）

### ● GIGAスクール構想の実現について



【引用】文部科学省HP「GIGAっスクール構想の実現について」より抜粋 [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/other/index\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/other/index_00001.htm)

## 沖縄県の教育現場の状況



人材確保と長時間勤務の改善が必要

◆ 教員未配置状況

■ 令和 6 年

| 校 種      | 4月  | 6 月 | 9 月 |
|----------|-----|-----|-----|
| 全体       | 12名 | 35名 | 52名 |
| 内訳 担任未配置 |     |     |     |
| ・ 小学校    | 0 名 | 11名 | 13名 |
| ・ 中学校    | 0 名 | 3 名 | 8 名 |

★ 人材確保

- ✓ 人材発掘・確保・採用
- ✓ 教職の希望者の育成

◆ 業務の多忙化

- ・ 時間外勤務80時間以上の教職員

| 月平均割合<br>(月平均人数) | R 5               |
|------------------|-------------------|
| 市町村立<br>小学校      | 1.1 %<br>(74.8人)  |
| 中学校              | 3.2 %<br>(127.7人) |

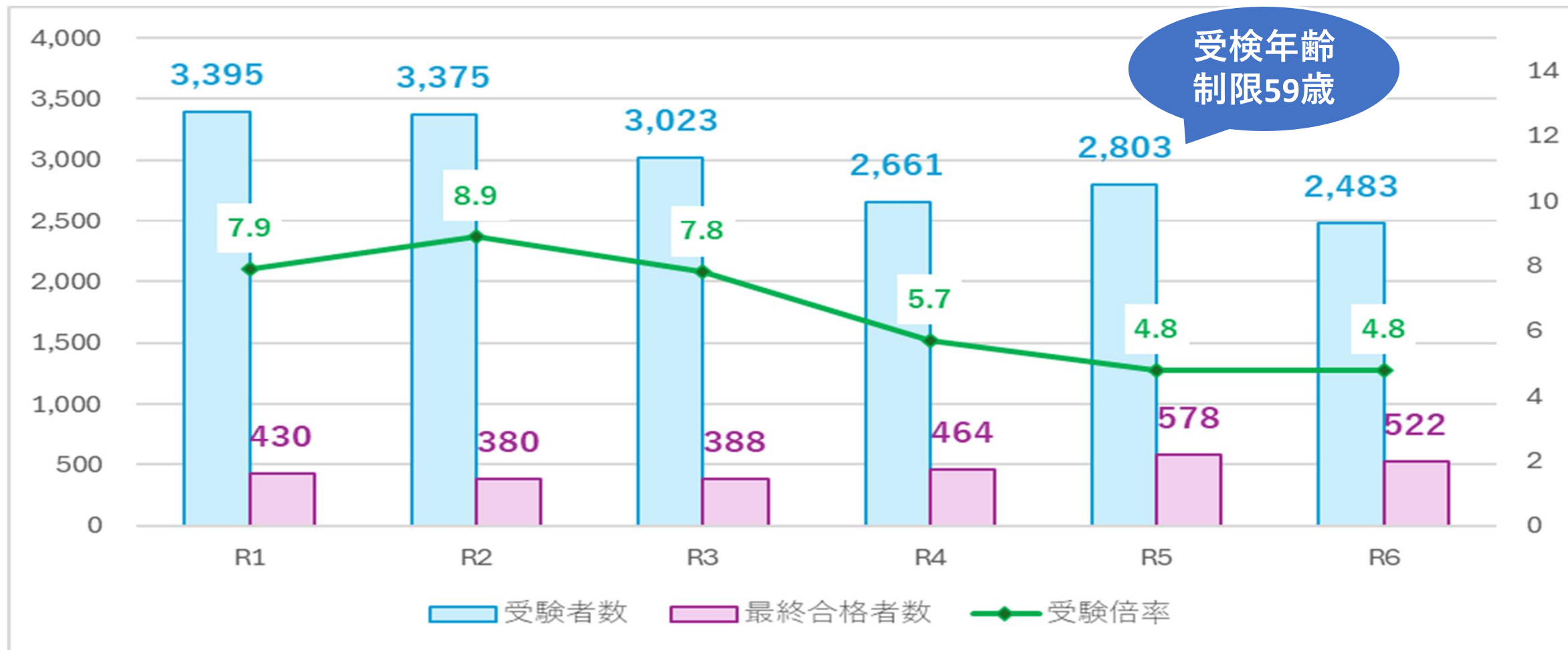
★ 長時間勤務の是正

- ✓ 思い切った業務改善
- ✓ メンタルヘルス対策



## 多様な経歴の教職員の人材育成が必要

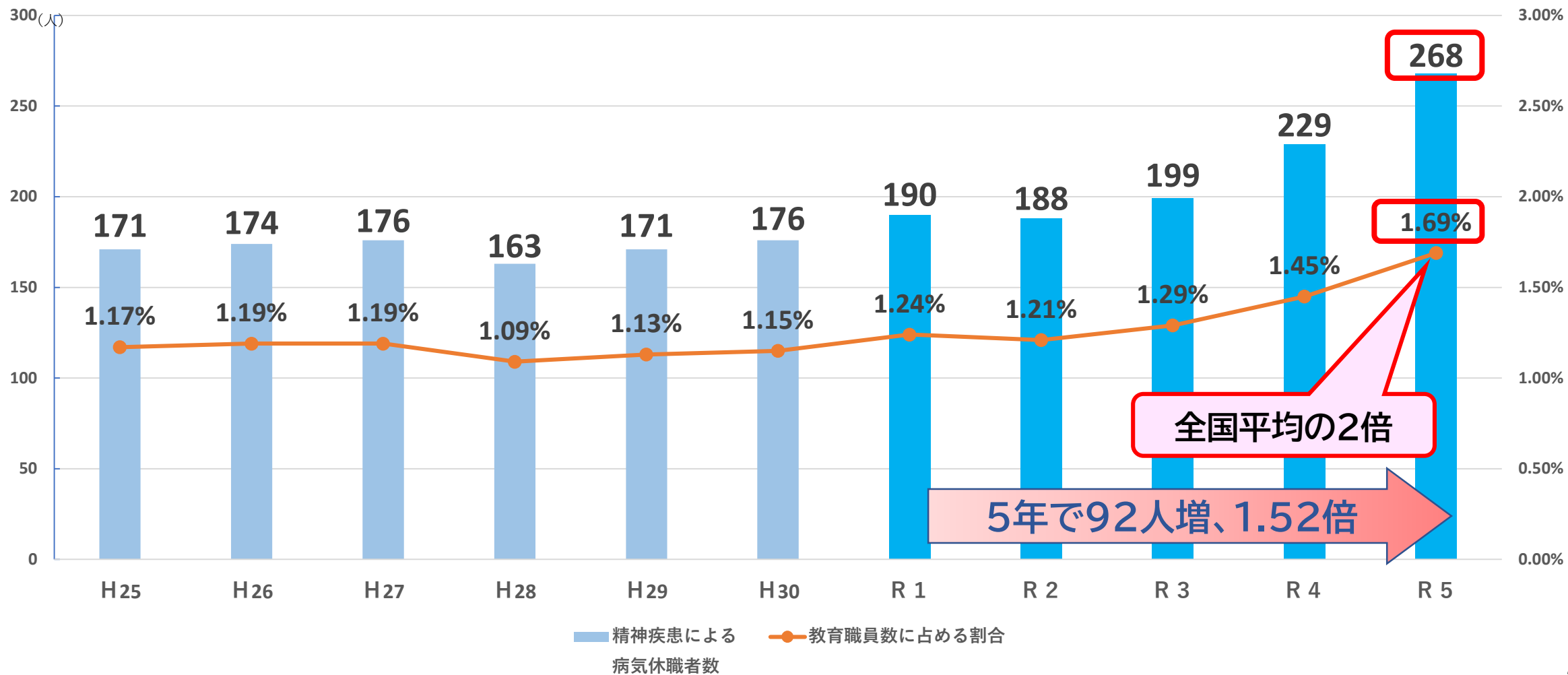
### ■ 本県の教員候補者選考試験の受検者数と最終合格者数の推移





## 心身の健康の確保が必要（安全・快適な職場環境の形成）

■ 沖縄県の教育職員の精神疾患による病気休職者数





## 学校からの声 本県の現状『学校における働き方改革アンケート(2023)』より

みんなの学校!ピースフル・プラン



小学校教諭

念願の教員になり、その仕事は素晴らしいです。子どもに関わることができて幸せです。しかし、仕事が多すぎて、なかなか定時に帰れません。誰も教材研究を無くしてほしいとは言いません。教師として、子どもたちに本当に必要なものを知っているからです。後輩達にもその素晴らしさを伝えられるよう、早急な業務内容の精選をお願いしたいです。

教師という職業にしかない魅力は多く、素晴らしい職業だと思っています。しかし、その魅力を上回るほどの負担があるように感じています。少しでも多くの業務が改善され、先生方の負担が軽くなり、生徒と向き合い関わる時間が増えることを望んでいます。



中学校教諭



高等学校教諭

教職員の本来の業務は授業や生徒の育成であるはずなのに、それ以外の業務の量が多すぎて授業準備・改善に集中できません。1人当たりの業務量を減らすために業務の大幅削減などが早急に必要と感じています。

教員の働き方改革は、生徒の学習と切れない問題だと思っています。生徒の多様な学びを保障するためには教員の多忙が改善されなければ難しい。人員の増、専門家の活用、地域との連携、どれをとってもお金をかけずに、善意に頼っている間は解決は難しいのではないのでしょうか。

特別支援学校  
管理職

# 「教職員の**厳**しい勤務環境」の改善が無ければ、 5年後、10年後の学校は・・・？

今回の学校における働き方改革は、我々の社会が、

子供たちを最前線で支える教師たちが

これからも自らの時間を犠牲にして長時間勤務を続けていくことを望むのか、

心身ともに健康にその専門性を十二分に発揮して

質の高い授業や教育活動 を担っていくことを望むのか、

その選択が問われているのである。

※中央教育審議会 答申（平成31年1月25日）より

## 私たちが経験したことのないこれからの学校教育

★ 教職員が忙しすぎることは、子供たちのためにならない

今回の学校における働き方改革で、  
子供たちを最前線で支える教師たちが

心身ともに健康にその専門性を十二分に発揮して  
質の高い授業や教育活動を担っていくことを望む

◆ 学校における働き方改革を、学校・家庭・地域が一体となって推進

## ◆ 学校における働き方改革を、学校・家庭・地域が一体となって推進

『子供たちに対してより良い教育を行っていくことができる』  
教育環境を整える

学校における働き方改革の実現による沖縄県の未来像

学校における働き方改革の目的：子供たちへのより良い教育を行う



誰一人取り残さない社会  
持続可能な沖縄の発展



## ■ 交流タイム 2（隣近所の方と情報交換を！）

推進する必要性を振り返りながら

### ● 「〇〇〇〇な学校にしたい！」

学校・家庭・地域でどんなことを  
連携・協働したいですか？

👉 子たちがどのように成長して欲しいかな？